

6月の植物 **センダン（栴檀）** 学名：*Melia azedarach* センダン科

センダンは、5月末から6月初旬にかけて多くの花を咲かせる。成長すると大きな樹木になるため、道路沿いや公園では花の時期や実を付ける時期に目を引く。本県内には自然分布しておらず、植栽とされている。

大成する者は、幼いときから人並み外れて優れていることの例えとして、「栴檀は双葉より芳し」との言葉があるが、ここでの「栴檀」は本種のことではなく、白檀というインド原産の樹木のことである。

昔の沖縄県では娘が産まれると、庭にセンダンを植栽して、娘が結婚するときの嫁入り道具にセンダンからタンスを作って持たせたという。センダンの樹皮は駆虫薬の成分があるので、タンスにすると虫がつかないためだろうか。または成長が早いため、娘が結婚するときにはタンスが作れるほど大きくなるからなのか。本県内では娘が産まれるとキリを植栽して、同じようにタンスにすると聞くため、違いが面白い。

本種は秋に多くの黄色い実をつける。落葉した後でも多くの実が残っているため、遠くからでもよく目立つ。実はサポニンを多く含むため、食用にはならないとのこと。



2016. 5. 26 唐津市浜玉町渚上